



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思います。
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合ってもらいたいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思います。
よろしくお願いいたします。

★資料名

「また来年も待ってるよ」

★今回の道徳の授業のねらい

自然や動植物が持つ力強さやすばらしさを感じ、それらを大切にしようとする心情を育てます。

★お話のあらすじと内容

「ぼく」の家には、毎年夏が近づくとフクロウが巣をつくりにやってきます。「ぼく」は、家の屋根裏で生まれた二羽のひなに「うん」と「ピー」という名前をつけました。親鳥からの愛情をたっぷり受けて育つ「うんピー」たち。「ぼく」は、心から愛でる気持ちで見守ります。また、ときに「うんピー」たちが見せる野生動物としての姿に、鳥が自然の中で生きていくことの厳しさにまでも、「ぼく」は思いを馳せます。二羽のフクロウが巣立っていきました。夜、森の方角から聞こえてくるフクロウの声に「ぼく」が耳を傾け、「また、来年も待ってるよ。」と声をかけるという話です。

★子どもたちの授業で感じたことや振り返り

- ・今日の授業を聞いて、動植物を大切にしようと思いました。今育てているミニトマトもキュウリも、水を忘れずにあげて、大切に育てていきたいです。
- ・主人公の「ぼく」は、「また来て遊ぼうね」「会いたいけど我慢するよ」「自然の中で大人になった姿を見せてね」と思いながら、「また来年も待ってるよ」と言ったと思います。
- ・家で飼っている動物は、最近元気がありません。もっともっと大事にして、かわいがってあげようと思いました。

★家庭で話し合ってもらいたいこと

自然探索や身近な動植物とのふれ合いをきっかけとし、本教材を通して学級で話し合ったことをご家庭でも話題にしてください。動植物のかわいらしさや自然の中で必死に生きようとする姿を想起しながら命の尊さについて考えることは、子供たちの自然愛や動植物愛護の心を育てることにつながります。